



## 「へそ」があるのはなぜ

### 「へそ」は、「へそのお」のとれたあと

「へそ」は、赤ちゃんが、お母さんのおなかの中から出てきたときに、「へそのお」をき切ったためにできるものです。つまり、「へそのお」のとれたあとが、「へそ」なのです。

### 赤ちゃんの体は、「へそのお」でお母さんとつながっている

「へそのお」は、おなかの中の赤ちゃんとお母さんをつなぐ、管のようなものです。

赤ちゃんは、自分の体に必要な酸素や栄養など、すべてのものをおなかの「へそのお」で、お母さんからもらっているのです。

赤ちゃんの「へそのお」は、お母さんのおなかの中にある、たいばんにつながっています。「へそのお」の中には、動脈と静脈という血管があり、動脈の中を流れている血液を通して、赤ちゃんに必要な栄養は、お母さんから送られ、赤ちゃんのいらなくなったものは、静脈の中を流れている血液を通して、お母さんにわたされ、お母さんが、捨ててくれているのです。

ですから、おなかの中の赤ちゃんが体を成長させたり、生きていくのに必要なものは、すべて、「へそのお」を通して、お母さんからもらっているのです。（監修・保志 宏）

